

保険法判例百選〔第2版〕

洲崎博史 = 後藤 元 編

担当編集から

一人暮らしをするにあたって「火災保険の加入はこちら」と言われたり、自動車運転免許を取得する際に「車を買うなら自賠責保険への加入が必須。もちろん任意保険も加入すべき」と言われたり、そしてその都度、小さな字がギュッとつまった約款を渡されたり……。身近にある「保険」ですが、自分がどんな契約をしているのか、すべてを把握している人は少ないのではないのでしょうか。

本書は、それら保険契約の基本となる「保険法」がどのような法律で、こういった紛争事例があるのか、を紹介しています。旧版刊行からの約15年間で、保険法そのものは大きく変わらずとも、保険をめぐる現象には大きな変化がありました（車の自動運転など）。新しいタイプの保険商品や契約をめぐる紛争が起きた場合に、解決の筋道をどのように立てるのか等を考える素材として、ぜひご利用ください。(A)

Point

15年ぶりの改訂！

I 総論 (4件)

- (1) 保険・保険契約の意義
- (2) 保険約款

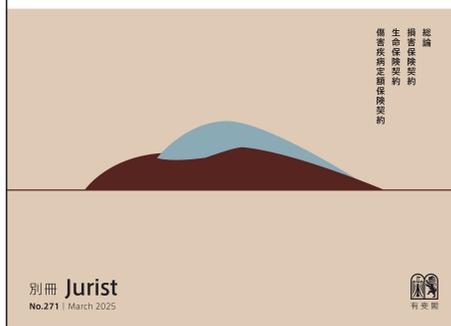
II 損害保険契約 (52件)

- (1) 契約の成立
- (2) 契約の効力
- (3) 保険料の支払
- (4) 保険給付
- (5) 損害保険契約と担保物権
- (6) 火災保険
- (7) 自動車保険

保険法 判例百選

〔第2版〕

洲崎博史・後藤元 編



詳細を見る

レベル	用途	対象
中級 上級	学習 研究 実務	学部 法曹 法務

2025年3月発売 / 242頁 / 定価3190円(税込)
B5判 / 並製

- (8) 賠償責任保険
 - (9) 海上保険
- ### III 生命保険契約 (44件)

- (1) 成立
- (2) 効力
- (3) 保険料の支払
- (4) 保険給付
- (5) 終了

IV 傷害疾病定額保険契約 (12件)

Appendix 12件
資料 保険法制定前の商法

BOOK INFORMATION

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

